2025年　プログラム近況報告
ケニア　イララマタク地域開発プログラム
温かいご支援をありがとうございます



イララマタク地域の子どもたちへの温かいご支援をありがとうございます。皆さまのご支援により、子どもたちの学習環境が改善され、家庭の収入が向上し、子どもの権利を守るための活動を進めることができています。

エヴァンス・オスンバ
イララマタク
地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

1,261

子どもへの暴力をなくすために、1,261人の子どもたちが、自分たちにとって有害な行いや慣習（体罰、家庭内暴力、児童婚など）に反対し、声を上げるなどの行動を起こしました。

143

143の貯蓄グループが活動しました。メンバー同士が支え合いながらお金を貯め、利子を得て、貸し付けを利用しています。家計の安定が、子どもたちのより良い生活につながります。

ケニア　：　日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

18歳未満の女子1,000人あたりの出生数		1日2.15米ドル未満で暮らす人の割合		1人当たりの国民総所得（GNI）	
64.2	2.9	36.1%	0.7%	$4,474	$42,274

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「私の両親は、ワールド・ビジョンの研修に参加して農業技術を学び、以前は放牧地だった場所にキャベツを栽培するようになりました。採れたキャベツを売ったお金で、生活に必要なものを買えるようになりました」
マーシーちゃん、11歳

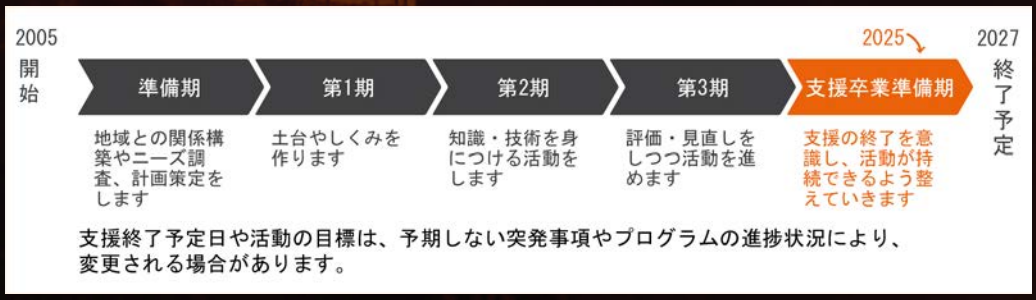
大きな変化がもたらされています

1,678

3〜6 歳までの子ども1,678人が、就学前教育を受けられるようになりました。小学校入学後、学びを続ける基礎を築いています。

86%

地域住民の86%が、子どもの保護のための研修に参加しました。女性器切除、児童婚など、子どもに害のある地域の慣習に対し、考え方や行動自体を変えていきます。



「勉強の時間を取れるようになりました」



「私の地域には、きれいな水がありませんでした。また、生活に必要な水をくむために、季節ごとに違う川まで長い距離を歩かなければならず、そのせいで、勉強する時間をとることが難しい状況でした」と16 歳のシンシアちゃん（前列左）は話します。

その後、ワールド・ビジョンの活動によって地域には井戸が建設され、多くの家庭や学校、医療施設で安全な水が使えるようになりました。

「今では、安全でない水を原因とした感染症は減って、服も清潔に保つことができます。遠くまで水くみに行く必要がなくなったので、勉強の時間が取れるようになりました。これからの未来が楽しみで、将来は先生になりたいと考えています」



チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

ケニア　イララマタク地域開発プログラム（KEN-182381）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	（単位：円）
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	63,871,950
前期からの繰越額	2,341,541
プログラム支援額合計	66,213,491

プログラム支出額	
子どもの教育とレジリエンス向上プロジェクト	16,587,040
子どもの保護と参画プロジェクト	14,434,344
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	35,192,107
プログラム支出額合計	66,213,491
次期繰越額	

活動内容

子どもの教育とレジリエンス向上プロジェクト

- 妊産婦及び保護者に対する乳幼児の育児法に関する研修
- 就学前教育の促進
- 貯蓄グループの設立及び運営支援

子どもの保護と参画プロジェクト

- 子ども主体の啓発活動の実施
- 地域ボランティアへの子どもの保護に関する研修
- 文化的価値観を尊重した、子どもの保護のための地域支援体制の構築

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 最も脆弱な子どもに対する中等教育就学支援

お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp